

科目名：コミュニケーション論 〈含、演習〉		必	2単位 (90時間)
(Communication Theory)			
履修年次/時期：1年次 後期		授業形態：講義・演習	
担当教員：伊ヶ崎理佳（実務経験有）、片岡あい子（実務経験有）、関端麻美（実務経験有）			
学修目的	医療に必要なチーム医療及び患者さんとのコミュニケーションを図ることを中心に講義やグループディスカッションを通して課題発見力、問題解決力を養う。 CP 1, 2, 5に関連する。 科目 No.S1A03H09		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける能力を有する。	
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	◎
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○
(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。		○	
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	①コミュニケーションについて定義、方法を学ぶ。 ②発達の理論を学ぶ。 ③コミュニケーションに関わる心理学的な理論を知る。 ④コミュニケーションの方法を身に付ける。 ⑤ヘルスコミュニケーションを理解する。 ⑥アサーションについて学ぶ。		
授業概要	近年、コミュニケーションの重要性は日常生活をはじめ歯科の現場でも重要視されている。患者さんが自分自身の問題点に気づき、多くの問題を解決し、行動変容をもたらすためにいかに導いていくかが重要である。コミュニケーションに関する基礎的な知識や技術をディスカッションしながらすすめる。		
評価方法	本試験（60%） 課題提出、受講状況、実習への取り組み（40%） 試験に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・復習時間	【予習】2時間 【復習】2時間		
教科書	プリントを配布します。		
参考書	随時紹介します。		

お問い合わせ 連絡先	伊ヶ崎 火～木（16:40～17:00）	ikazaki@kdu.ac.jp	3号館2階研究室	不在時はメールをお願いします。
	片岡 月～金（16:40～17:00）	kataoka@kdu.ac.jp	3号館2階研究室	不在時はメールをお願いします。
	関端 月～金（16:40～17:00）	sekibata@kdu.ac.jp	3号館2階研究室	不在時はメールをお願いします。

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/)	オリエンテーション コミュニケーションとは(1) ・コミュニケーションについて考える。	[予習]コミュニケーション論で学びたいことを考えてくること [復習]本時の内容を振り返る [キーワード]コミュニケーションの定義、コミュニケーションスキル、傾聴、共感	講義 ○伊ヶ崎
2 (/)	コミュニケーションとは(2) ・プロフェッショナルとしての歯科衛生士に欠かせないコミュニケーションについて考える。 ・医療面接について学ぶ。	[予習]医療面接について調べる [復習]医療面接について理解する [キーワード]プロフェッショナリズム、医療面接、非言語的コミュニケーション、メタ・メッセージ	講義 ○片岡
3 (/)	発達論 自分を知る(1) ・発達の理論を学ぶ。	[予習]なし [復習]発達の理論について整理する [キーワード]発達課題、発達の方向性、連続性、異速性、ジャンセン、ハヴィガースト、エリクソン、アイデンティティー	講義 ○伊ヶ崎
4 (/)	発達論 自分を知る(2) ・自分年表の意義を理解し、作成できる。	[予習]自分の生い立ちを調べてくる [復習]自分のこれまでの生活を振り返る [キーワード]自分年表	講義・演習 ○伊ヶ崎 片岡 関端
5 (/)	心理学から見たコミュニケーション(1) ・コミュニケーションに関わる心理学的な理論を知る。	[予習]なし [復習]クライアント中心カウンセリングの基本を理解する [キーワード]自己理解、クライアント中心療法、ラポール	講義 ○片岡
6 (/)	心理学から見たコミュニケーション(2) ・コミュニケーションに関わる心理学的な理論を知る。	[予習]なし [復習]カウンセリングの方法を理解する [キーワード]対人認知、ステレオタイプ観念、認知、私の木	講義・演習 ○片岡 伊ヶ崎 関端

7 (/)	<p>コミュニケーションの方法(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなコミュニケーションの形を理解する。 ・非言語コミュニケーションを体験し、適切なコミュニケーションの基本を理解する。 ・傾聴について理解する。 	<p>[予習]言葉以外のコミュニケーションとは？</p> <p>[復習]話しやすい環境</p> <p>[キーワード] 非言語的コミュニケーション、傾聴、心理的距離</p>	<p>講義・演習</p> <p>○関 端 伊ヶ崎 片 岡</p>
8 (/)	<p>コミュニケーションの方法(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非言語的コミュニケーションを体験し、適切なコミュニケーションの基本を理解する。 ・傾聴について理解し、実践できる。 	<p>[予習] 傾聴の基本姿勢</p> <p>[復習]傾聴の基本姿勢</p> <p>[キーワード]視線、うなずき、あいづち、くりかえし</p>	<p>講義・演習</p> <p>○関 端 伊ヶ崎 片 岡</p>
9 (/)	<p>コミュニケーションの方法(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共感について理解する。 	<p>[予習] 相手の気持ちを受け止めるには？</p> <p>[復習]共感・感情の理解を伝える技法</p> <p>[キーワード]共感</p>	<p>講義・演習</p> <p>○関 端 伊ヶ崎 片 岡</p>
10 (/)	<p>コミュニケーションの方法(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共感について理解し、実践できる。 	<p>[予習] 相手の気持ちを受け止めるには？</p> <p>[復習] 共感・感情の理解を伝える技法</p> <p>[キーワード] 感情の明確化、同情、同感、感情移入</p>	<p>講義・演習</p> <p>○関 端 伊ヶ崎 片 岡</p>
11 (/)	<p>コミュニケーションの方法(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者さんと良好なコミュニケーションの方法を理解する。 ・患者さんの本来の感情に気づくことができる。 	<p>[予習] 患者さんの心理について考える</p> <p>[復習] 事例検討を振り返る</p> <p>[キーワード]ロジャーズのクライエント中心療法、感情の明確化</p>	<p>講義・演習</p> <p>○関 端 伊ヶ崎 片 岡</p>
12 (/)	<p>ヘルスコミュニケーション(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者さん主体のコミュニケーションを図ることが出来る。 	<p>[予習] 患者さん主体のコミュニケーションとは</p> <p>[復習]コミュニケーションスキルを振り返る</p> <p>[キーワード]患者さん主体、コーチング</p>	<p>講義・演習</p> <p>○片 岡 伊ヶ崎 関 端</p>
13 (/)	<p>ヘルスコミュニケーション(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者さん主体のコミュニケーションを図ることが出来る。 	<p>[予習] 患者さん主体のコミュニケーションとは</p> <p>[復習] コーチングを振り返る</p> <p>[キーワード]患者さん主体、コーチング、メッセージ</p>	<p>講義・演習</p> <p>○片 岡 伊ヶ崎 関 端</p>

14 (/)	<p>良いコミュニケーションとは(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサーションについて理解する。 	<p>[予習]自己表現タイプを考える</p> <p>[復習]アサーションについて理解する</p> <p>自分の気持ちをきちんと伝える技術について振り返る</p> <p>[キーワード]アサーション、自己表現タイプ</p>	<p>講義・演習</p> <p>○伊ヶ崎 片岡 関 端</p>
15 (/)	<p>良いコミュニケーションとは(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサーションを用いたコミュニケーションを図ることができる。 ・医療安全に必要なコミュニケーションについて理解する <p>まとめ</p>	<p>[予習]コミュニケーション論での配布資料を整理する</p> <p>[復習]アサーショントレーニングを振り返る</p> <p>[キーワード]アサーショントレーニング、言葉以外の表現方法、チームワーク、コミュニケーション・センス</p>	<p>講義・演習</p> <p>○伊ヶ崎 片岡 関 端</p>